特集 子どもたちの質問に 答えます



鳥取市歴史博物館「やまびご館」

Q.恐竜や宇宙の歴史に関する展示はないのですか?

▲ 恐竜や宇宙の歴史も大切でおもしろいテーマですが、やまびこ館の展示は人間が鳥取に住み始めたころから現代までを対象として、鳥取市域の歴史や文化について紹介しています。そのため、展示を担当するスタッフ(学芸員)は、人間が誕生してからの歴

史を主な専門としています。恐竜や宇宙などに比べると地味かも知れませんが、人間の、特に鳥取に住んだ人びとの歴史を知ることは、現在の鳥取に住む私たちにとってとても大切なことです。



常設展示室

鳥取市因幡万葉歴史館

Q.梶山古墳の石室が復元されていますが、 えがかれている絵は何ですか?

A.奥壁にえがかれているのは、魚の絵を中 をかくもか どうしんえんもん きょく 心として、上に三角文や、同心円文、曲 は、もん 線文があります。魚の絵が古墳にえがかれ るのは、因幡地方にみられる特徴です。どう いった意

味がある のかは、 よく分かっ ていませ



梶山古墳壁画 (復元)

仁風閣·宝扇庵

Q.仁風閣のらせん階段はどうやって曲げて 作っているのですか?

▲仁風閣のらせん階段はケヤキというとって も硬い木で作っているので曲げられないんで

す。昔の腕のいい 職人さんたちがう まく削ってつないだ ものです。

仁風閣は、12月 29日より5年間 改修工事のため 長期の休館とな ります。



らせん階段

鳥取市埋蔵文化財センター

Q.「土器」ってなあに?

A.これは、鳥取市内の遺跡から出土した 縄文土器です。土器は粘土をこねて、野 焼きをして、硬くて丈夫な器を作り上げ ることによってモノや水を入れて運ぶこ とができます。また、食べ物の煮炊きが 出来るようになり、人々の食生活は豊か になり大きく変化していきます。縄文土 器は、約1万年以上もの長い間主に煮炊 きをする鍋として使われましたが、その 形は地域によって特徴があり、飾られる

模様も複雑なものからシンプルなものまで実に様々です。ですから土器をみればどこの、いつ頃の物かがわかります。



国指定重要文化財栗谷遺跡出土品(鳥取市歴史博物館蔵)

鳥取市あおや郷土館

Q.青谷町夏泊の海女さんが使っていた、この 道具は何ですか?

A.これは「ワーブ (アワビ) がね」と呼ばれた、アワビを採る時に使用された道具です。 鉄製のへら状の道具で、岩場に貼りついているアワビを、テコの原理で採りました。

ちなみに青谷上寺地遺跡からも、シカの角 の一端をへら状に加工した「アワビオコシ」

が出土しています。



ワーブ(アワビ)がね(鳥取市あおや郷土館蔵)

鳥取市あおや和紙工房

Q.あおや和紙工房で人気商品は何ですか?

A.厚さ、染め方、色、. バリエーション豊富な染め和紙です。

ちぎり絵、ランプシェード、インテリアなどに使われます。

最近では、海外からのお客様にも大変人気となっており「美しい」とお褒めいただいております。



染め和紙

城下町とつとり交流館 高砂屋

Q.昔は何のお店だったんですか?

A.綿 商 い (布団屋さん)です。建物とは別に蔵が4棟もあり、蔵に布団などを保管していたようです。

明治時代の商家は国の登録有形文化 財となり、今は市民の憩いの場として 親しまれています。



登録文化財プレート